

令和5年度学校評価報告書

令和6年3月18日

北海道教育委員会教育長 様

北海道富良野高等学校長

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 スクール・ミッション

- (1) 生徒の興味関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
- (2) 個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成
- (3) 富良野地域の教育資源を活用した特色ある教育活動を通じて、高い志とグローバルな視野をもって、誠実に地域や社会の将来に貢献する人間性豊かな生徒の育成

2 スクールポリシー

- (1) 育成を目指す資質・能力に関する方針
 <本校で身に付けさせたい10の力>
 ①基礎力（言語・情報・数量に関するスキル） ②思考力 ③表現・発信力 ④課題発見解決力 ⑤自己・他者理解力 ⑥自律的活動力 ⑦社会参画力 ⑧実践力 ⑨人間関係形成力 ⑩コミュニケーション力
- (2) 教育課程の編成及び実施に関する方針
 - ・単位制の趣旨を生かして、生徒の多様な学力や進路希望に応じた教育課程やキャリア教育の充実を図ります。
 - ・生徒の学習意欲を喚起し、主体的に学ぶことができるよう主体的・対話的で深い学びや探究的な活動の充実、ICTの積極的な活用を図ります。
 - ・地域の教育力や環境を生かした富良野らしい教育の充実を図ります。
- (3) 入学者の受入れに関する方針
 - ・自分の進路実現に向けて意欲的に勉学に励む生徒
 - ・学業との両立を図り、失敗を恐れずに主体的に部活動や生徒会活動などにチャレンジする生徒
 - ・基本的生活習慣を身に付け、規範意識をもって行動する生徒

3 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
開かれた学校づくり (保護者・地域等への情報発信)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや紙媒体よりも、SNSを活用した広報を行った方がよいのではないかと。 ・昨年度と比べて、ホームページ更新の頻度が下がっている。担当者はもとより、各授業の教科担任サイドで、情報の発信を意識していくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はホームページの更新が少なかった。保護者、卒業生は見ているので更新の頻度を上げてほしい。 ・生徒と先生、保護者が意見交流する機会があった。本音で話し合い、素晴らしい。 ・地域との連携・協働する取組を継続してもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携・協働体制を充実させるため、継続して地域の関係機関と情報共有に努める。 ・今後も教科横断的に地域の教育力を最大限に活用できるようカリキュラムマネジメントを機能させ、教科横断的な探究活動の充実に努める。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善について、授業評価の取組状況や観点別学習状況の評価等を踏まえ、教科で研修の充実が必要である。 ・授業改善について、テーマや内容を絞って取り組んでいくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートの結果を踏まえ、観点別学習状況の評価の研修を充実させてほしい。 ・BYODにおけるタブレットについて、授業等で効果的に活用がされていることから、

	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な教育課程となっているため、科目選択に係る指導に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な取組を期待する。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況の評価に関する研修をとおして指導と評価の一層の充実を図る。 ・本校の実態に応じた ICT 活用となるよう、研究と研修を進め、教職員の資質・能力の向上を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの中で生徒の実態を常日頃から観察していき、人間関係の悪化や不登校などの兆候を見逃さないようにする。 ・スマホの使用について、場所や状況を考えずに使用する生徒が見受けられるので、指導していく必要がある。 ・遅刻・服装・頭髪指導は、全教員で共通意識のもと概ね良好であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が生徒と定期的に面談している。このような機会をとおして今後もしじめの早期発見、初期対応に努めてほしい。 ・不登校や別室登校の生徒が増えているのが心配である。学校関係者で協力してできることはないか考えていきたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールポリシーの「育成を目指す資質・能力に関する方針」を踏まえた生徒の育成を図る。 ・生徒一人一人に目を配り、日常的な対話に努めるとともに、別室登校、遠隔授業、スクールカウンセラーの活用等、校内体制を整えたが、面談等、生徒に寄り添った対応を継続していく。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を生かした探究活動の取組ができた。 ・専門学校と連携協定を締結できたので、生徒たちに幅広い情報を提供できるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材を活用した取組が、例年より増えたこと、大いに評価できる。 ・「総合的な探究の時間」において、地域と連携した取組を今後も継続してもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・進路シラバスを検証し、改善を加えることで効果的なキャリア教育を推進する。 ・総合的な探究の時間（進路探究）をさらに充実させていく。 	
いじめ防止	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの認知件数は、少数であったが、数に関係なく、保護者等とも連携し、該当生徒に寄り添う対応ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が生徒と定期的に面談している。このような機会をとおして今後もしじめの早期発見、初期対応に努めてほしい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・富良野高校いじめ防止方針を学校ホームページやPTA 総会等で保護者・地域に周知する。 ・生徒の小さな変化を見逃さず、情報共有をして対応する。 ・SNS による誹謗中傷についても、生徒・保護者にリーフレット等を配付し、啓発する。 	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校ウェブサイト」を活用して評価結果を保護者等に周知する。 ・学校評議員会及びPTA 役員会等で評価結果についての説明、意見を聴取する。 	

4 添付資料

令和5年度学校評価結果（自己評価・保護者アンケート）